神戸市広報印刷物登録　令和3年度第4号-10（広報印刷物規格A-1類）

この広報紙は外国語でも読めます

You can access the foreign language versions of this newsletter from here.
请在这里下载本报刊的外语版
구민홍보지 외국어판은 여기서 확인
外国語版はこちらから
Xem bản tiếng nước ngoài của tờ thông tin này ở đây
Official English Twitter account @kobe_chuo_eng

区民広報紙
中央
PUBLIC RELATIONS MAGAZINE CHUO
2022 | FEBRUARY
2

かもめん

今年で開館40周年　2月5日から再オープン

長く愛されているのには訳があります

設備工事で休館していた市立博物館が再開します。昭和57年に市立南蛮美術館と考古館を統合して開館しました。今年は開館40周年を迎える記念イヤーで、特別展も目白押しです。また、今回特にお薦めしたいのは、2年前にリニューアルした常設展示。大人も子どもも時を忘れて歴史トリップできます。自慢のコレクションをぜひ間近でご覧ください。

問市立博物館 ☎391-0035 F392-7054

利用案内など詳細はこちら　貴重なコレクションの解説も
公式ホームページ

特別展は7面参照

謎と発見の宝庫　本物の感動を味わえるコレクション

謎その1　よく見ると絵画が！

銅鐸は、弥生時代に農耕のまつりに使われた青銅器。1964（昭和39）年に灘区桜ヶ丘町で14点の銅鐸が見つかりました。人物や鹿、水鳥、スッポン、トンボなどの生き物が描かれたものがあります。

国宝「桜ヶ丘銅鐸・銅戈群」は、同館蔵の代表的な考古資料。実物展示で360度から観賞できる専用室あり

謎その2　ザビエルは何と言っている？

「十分です、主よ、十分です」と言っています。あまりにも大きな神の愛に圧倒されている様子を描いています。

通称「ザビエルルーム」には精巧なレプリカを展示。年1回実物展示あり（次回は3月29日㈫～5月8日㈰に実物展示予定）

重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」

謎その3　優美な輝きの秘密は？

19世紀になると、日本でも切子が作られました。現在とは違い、当時は棒状の工具で表面をごしごしと削るように文様を刻んでいました。美しい輝きは、今では考えられないほどの時間と労力をかけた賜物なのです。

「手彫り薩摩切子青緑色被（き）せガラス蓋物」

謎その4　その昔、どうやって作られた？

現在は主に衛星写真から地図を作りますが、それは最近の話。かつては、実際にその土地を調査するか、今ある地図を描き写すなどして作られました。たくさんの地図を見比べると、その地図の作製過程が分かるかもしれません。

L.テイセラ「日本図」

市立博物館 イチハクはここも推し♥なんです

若手学芸員オススメ

ジオラマに目を凝らすとハイカラな街にタイムトリップできます（高橋）

1階の展示室や喫茶室は入場無料なのです（三好）

異人館の内装を移築した喫茶室はインスタポイント（鈴木）

ここも♥

- ♥「神戸の歴史展示室」の実物・CGは必見
- ♥金・土曜の夜間開館はオススメ時間帯。建物ライトアップもすてき
- ♥SNSでイベント情報も発信
- ♥ショップではオリジナルグッズを販売

公式Instagram